

## 第 3 回

# 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議

令和3年3月23日

## 会議要録

## 令和2年度 第3回 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議 会議要録

会議体の名称	令和2年度 第3回 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議	
事務局(担当課)	島田市市長戦略部戦略推進課	
開催日時	令和3年3月23日(火) 15:00~17:00	
開催場所	島田市役所本庁舎4階 第三委員会室	
議題	<協議事項> (1) 第2期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略改定(案)について <報告事項> (1) 令和2(2020)年の人口動態について	
出席者	創生市民会議 構成員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 島田市自治会連合会 竹林常務理事</li> <li>・ 島田青年会議所 河村理事長</li> <li>・ (株)FM島田 八木社長</li> <li>・ 島田市小中学校PTA連絡協議会 安藤会長</li> <li>・ NPOクロスメディアしまだ 大石理事長</li> <li>・ 島田商工会議所 大久保会頭</li> <li>・ 島田市商工会 岡村会長</li> <li>・ 島田市観光協会 村田副会長</li> <li>・ 島田市農業経営振興会 仲田会長</li> <li>・ 島田高等学校 鈴木校長</li> <li>・ 島田市校長会 池谷会長(島田第二中学校長)</li> <li>・ 島田掛川信用金庫 三浦理事</li> <li>・ 島田・榛北地区労働者福祉協議会 鈴木会長</li> <li>・ 島田公共職業安定所 伊藤所長</li> <li>・ 静岡県立大学(学生)土屋まどか(食品栄養科学部4年)(欠席)</li> <li>・ 山本さくら(経営情報学部4年)</li> <li>・ 長瀬合央(国際関係学部3年)(欠席)</li> <li>・ 県立島田高等学校(生徒)山中美空(2年)(欠席)</li> <li>・ 県立島田高等学校(生徒)山本美咲(2年)(欠席)</li> <li>・ 島田市 染谷市長</li> </ul>
	オブザーバー	静岡県中部地域局 塚本局長
	事務局	島田市市長戦略部戦略推進課 駒形、興津、永田、酒井
	市関係者	・ 牛尾副市長 ・ 濱田教育長 ・ 鈴木市長戦略部長
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議構成員名簿</li> <li>・ 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議席次表</li> <li>【資料1】 島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略改定について</li> <li>【資料2】 第2期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略改定(案)</li> <li>【資料3】 重要業績評価指標(KPI)修正一覧</li> <li>【資料4】 重要業績評価指標(KPI)一覧</li> <li>【資料5】 令和2(2020)年における島田市の人口動向</li> <li>【資料6】 転入者・転出者アンケート集計結果</li> </ul>	

<開会の挨拶>

○市長戦略部長 皆様、ご多用の所、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。  
定刻となりましたので、ただ今から、「令和2年度第3回島田市まち・ひと・しごと創生市民会議」を開催いたします。  
本日の司会を務めさせていただきます島田市市長戦略部長の鈴木と申します。  
よろしくお願いいたします。それでは、島田市市長の染谷から、御挨拶を申し上げます。染谷市長より申し上げます。

○市長 皆様、こんにちは。市長の染谷でございます。  
本日は御多用の中、第3回 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議に御出席いただき、誠にありがとうございます。  
開会にあたりまして、一言御挨拶申し上げます。  
この会議は、本日が今年度3回目の開催となります。  
前回は8月20日に開催しており、第1期総合戦略の評価書案の協議や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業について報告をいたしました。  
昨年度末に計画期間を満了した第1期総合戦略の総合評価では、5年間の取組の成果として、2060年の将来推計人口の約2,300人増加に現れたものと評価させていただきました。  
将来推計人口が増加した要因としては、社会動態が転入超過となっていることが挙げられます。特に、9歳以下とその親世代である30代の子育て世代においては、6年連続、令和2年を含めると7年連続で転入超過となっていることから、子育て世代に選ばれるまちとして取り組んできた子育て支援施策や教育、移住・定住施策に一定の効果があつたものとしています。  
一方で、目標の達成や進捗を測る重要業績評価指標、いわゆるKPIについては、約60%が基準値を上回る結果となりましたが、施策の実態を反映できなかった項目もあつたことから、指標や目標値の設定の見直しが必要であると分析しています。  
本日の会議では、このような評価結果を踏まえ、KPIを中心に見直しを行った「第2期総合戦略の改定(案)」について、皆様から御意見を頂戴したいと思います。  
また、会議後半は、令和2年の島田市の人口動向について、御報告し、その後、構成員の皆様との自由な意見交換の時間とさせていただきたいと考えております。  
本日の会議が、様々な観点からの御意見や御提言をいただくことで有意義なものとなりますよう、皆様のお力添えを賜ることをお願い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。  
本日はよろしくお願いいたします。

○市長戦略部長 ありがとうございました。  
今回の会議から構成員が変更となっている団体がありますので、ご紹介いたします。  
島田青年会議所の理事長に河村 祐樹(かわむら ゆうき)様が1月から就任しております。どうぞよろしくお願いいたします。  
河村様につきましては、新たに構成員となられておりますので、ご挨拶をお

願いたいと思います。  
河村様よろしくお願ひいたします。

○島田青年会議所 河村理事長 あいさつ

○市長戦略部長 ありがとうございました。

本日の会議の出席者につきましては、出席者名簿を配付しておりますので、御確認いただきたいと思います。

なお、本日は、【静岡県立大学学生の土屋様と長瀬様、金谷高等学校生徒の山中様と山本様】が、所用により欠席となっております。

また、【NPO クロスメディアしまだ大石理事長、島田市校長会池谷会長、濱田教育長】が、所要により遅れての出席予定となっております。

それでは、次第に沿って早速、議事に入っていきたいと思います。

議事を進めるにあたり、「島田市まち・ひと・しごと創生市民会議 設置要綱」第3条の規定に基づきまして、議長を染谷市長に願ひしたいと思います。

よろしくお願ひします。

#### <議事（協議事項）（1）>

○市長 それでは、議長を務めさせていただきます。

皆様、よろしくお願ひします。

本日の議事は、「第2期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略改定案」に関する協議事項が1点、「令和2年の人口動態」に関する報告事項が1点ございます。

まず、はじめに、協議事項「第2期島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略改定案について」事務局から説明をお願いします。

○事務局 資料1、資料2、資料3、資料4の説明

第2期総合戦略の改定について説明

- ・見直しの考え方について
- ・評価・検証（PDCAサイクル）の説明
- ・KPI変更箇所の説明

○市長 ただいまの説明について、質疑、御意見等はございませんか。

○A構成員 資料3の p. 2 「出逢い、恋して、結婚する」のKPIについて、新しいKPI「結婚支援ネットワーク加入団体の支援により成婚した組数」の目標値15組というのは、元々設定していた「婚姻率」3.62から4.00が叶った時の数値ということか。もっと高い気がするが。

○事務局 婚姻というのは、市の施策に係らない所でも発生するものですが、今回はその中でも市の施策の効果が表れた部分のみを計れるKPIに変更したものです。そのため、婚姻率4.00が叶った時の数値、というものではありません。

○A 構成員 資料3の p. 4 「効率的で、持続性の高い公共交通の構築」でカバー率を削除しているが、この指標は質を落として達成する、ということもあり得てしまうのではないかと。最近不便になったという声も聞いているので、そうならないよう努めてほしい。

○事務局 質を落とすという意味で設定している訳ではなく、これまで不便であった地区で「新たに」公共交通を追加していこうというものです。今後も公共交通の利便性を維持するため努めていきたいと思えます。

○B 構成員 資料3の p. 1 「新たな付加価値による農林業で稼ぐ」の部分、「『実質化された人・農地プラン』に～」というKPIを設定している。農業経営振興会としても今後研究していく予定であり、今までも「人・農地プラン」は存在して積極的に計画していると思うが、基準値は0件で良いのか。また、「認定農業者数」は、現状維持に変更しているが昨年度で数名増えている実績がある。目標値は高くしてもよいのでは。

○事務局 「人・農地プラン」は以前から存在するものですが、今回新たなKPIとして設定したものは、「実質化された人・農地プラン」というもので、これまで計画しているプランに対し集落等で農業者が話し合い、合意形成をなすところまで進めた、一歩先の取組です。基準値0件というのは、これまでの「人・農地プラン」でなく、更に合意形成まで実施した「実質化された人・農地プラン」の数ということです。  
認定農業者数については、上向きの目標値というものも最後まで検討していたものの、数人の増減による評価のブレを防ぐため、「現状維持」を目標とさせていただきます。

○C 構成員 資料3の p. 2 「妊娠、出産する」の部分で、新たに「赤ちゃん訪問（乳児家庭全戸訪問）の訪問率」を設定している。訪問を手段とするのはよいと思うが、問題に対してどう対応したか、という結果を指標として置き換えていくと良いのではないかと。

○市長 訪問するだけでなく、島田市版ネウボラとして担当保健師が子どもや親の体調だけでなく、不安を聞いたり子育てについて相談に乗ったり、様々な対応を行っています。訪問が目的ではなく、訪問することで支援するために実施していることなので、この内容を指標にしてしまうと、内容が多岐にわたり難しくなると考えます。

○市長 他によろしいでしょうか。  
ありがとうございました。委員の皆様からいただきましたご意見については、関係各課にも共有をさせていただきます。

<議事（報告事項）（1）>

○市長 続きまして、報告事項「令和2年人口動態」について、事務局から説明をお

願います

- 事務局 資料5、6の説明
- ・令和2年人口動向について説明
  - ・転入者・転出者アンケート結果について説明
- 市長 ただいまの説明について、質疑、御意見等ございませんか。
- D 構成員 住む場所を決める際に考慮した居住環境において、保育料第2子半額、第3子無償化の回答が少ない。市外の人に知ってもらうようにPR方法を工夫した方がよい。また、高校を卒業した人や就職で離れていった若い人等に島田市の情報を届けたり、地元に戻ってきてもらう取組をしていると聞いたが、これについて効果は計れているか。
- 市長 20代男性は戻ってきている人が多いのではないかと把握しています。島田市では、高校生までに地域と深く関わり、島田市に根っこを張ってもらうということを大事にしています。市職員では、近年Uターンで受験する人が増えており、根っこがあればいつかまた戻ってくると考えています。いかに地域全体が若者にアプローチできるかにかかっていると思います。
- 事務局 効果が表れているか、という御質問に対してですが、転入者の住む場所を決めた理由トップ3に「生まれた土地、以前住んでいた」がランクインしています。
- E 構成員 知り合いが仕事の関係で愛知県から初倉の会社に来たのだが、社宅が藤枝にあるため藤枝に移住したという話を聞いた。こういったものが島田で用意できればよいと感じた。良い方法があるとよい。
- 市長 ありがとうございます。  
続きまして、次第の4「意見交換」に移ります。  
協議事項や報告事項に対するご意見、ご感想だけでなく、日ごろ市に対し感じていること等、なんでも構いませんので、自由にご発言ください。
- E 構成員 「野球のまち島田復活地域活性化プロジェクト実行委員会」で行った市内中学校野球部に対して月1回行っている野球教室の取組について、3月20日にYouTube配信を行った。3日間で850回視聴されていて、地域に広がっていると感じている。
- F 構成員 今年度ママハロでセミナーを4回、就職相談会を2回開催した。ママハロからハローワークにも来てもらうよう、月に1回、職業訓練や障害者雇用の相談をやっている。市役所の来庁者がママハロでのプレ相談を受けてから、ハローワークでの本格的な相談につなげていきたい。
- G 構成員 人口減少に歯止めをかけるというのは大きな課題だと考えている。総合戦略を生かし、色々な施策を講じ、検証していつてもらいたいと思う。市内企業

にアンケートを取ると、デジタル化が大事だと思っている企業は多くあるが、実行を考えているところは少ないと感じる。市のDX推進で市民の意識を変えてほしい。また、市内企業も一体となりDXに力を入れて、生産性を高めてほしいと思う。

- 市長 市のDX推進は、「市民サービス」「行政経営」「地域・産業」の3分野において積極的に取り組んでいくことを宣言しています。市としてはまず、デジタル化により市民の利便性を上げるようにしているところです。デジタル化と言っても、経費のこと、後継者のこと等考えることがたくさんあり、どこから考えたらよいか分からないのが現状だと思います。デジタル化により「こんな風になる」「こんなことができる」というのをPRしていきたいと思っています。
- 市長戦略部長 島田ICTコンソーシアムでも市内企業に募集をかけ、地域への先駆的な事例となるICT導入促進モデル事業というものを実施しました。今後もICTに関する相談に乗ったり、これまでに得た事例を横展開していきたいと考えています。
- 牛尾副市長 島田ICTコンソーシアムでは、令和3年度から商工会議所の1階でワーキングスペースの運営も行う予定です。3つの部会だけでなく、特別会員からも御協力いただきたいと考えています。まずは市として市民サービスの向上を目指し、そして行政、産業に続くようにしていきたいと思っています。
- B構成員 農業分野において、担い手が少なくなっている。農業者は農業をするだけでなく、里山の景観をきれいにするための役割もあり、農業者がいなくては景観の維持が出来なくなってしまいます。担い手を支えるためにも、皆様にはなるべく地元の農産物を買ってほしいと思っている。また、市としては、がんばる認定農業者支援事業費補助金や荒茶加工事業継続給付金、人・農地プランの作成等続けてほしいと思う。
- 市長 農業問題については待ったなしの状況であり、営農指導だけでなく支え合う仲間も必要です。JAや畑総と連携し、次の作物を考えたりして、儲けが出るように工夫しているところです。市として今後も全体の底上げを図るため頑張っている人の支援を行っていききたいと思っています。現場に耳を傾けながら、これから先の農業を考えていかななくてはならないと感じます。
- C構成員 9月から小学校の学習支援員として勤務していた。1クラスに1人くらい外国人の子どもがいて、両親が日本語を上手く話せず、母語を持たない子供もいた。外国人の子供の教育支援に市だけで取り組むのには限界があるので、外国人を雇う企業から支援があってもよいと感じた。
- 教育長 島田市には72、73人程度の外国籍の児童がおり、そのうち40人くらいは言語の指導を必要としています。しかし、それも十分に対応しきれないのが現状で、色々な翻訳アプリを使いながら、できることを地道にやっていきたいと思っています。

- H 構成員 3月5日から28日まで UNMANNED というイベントを開催しており、アーティストの作品を無人駅で展示している。この活動を通して、「関係人口」は地域の人々の生きがい、やる気のきっかけになる力があると感じた。県外の学生が何日間か支援に来たのだが、そこで目に留まるのが、景観、景色であるようだった。人を受け入れる土壌はあるので、中山間地にどのように人を呼び込むのか、横断的に施策を打ち、島田全体で取り組んでいきたいと思った。
- I 構成員 コロナ禍で経済が変わっていき、産業に影響を与えると感じた。デジタル化については、企業が準備できているのか、導入後対応出来るか、が課題であると思う。また、伊久身、川根地区は企業が少ないため人口減少が加速していると思われるので、いかにそういった場所で産業が構築できるか、産業が成り立つ地域づくりをしていかななくてはならない。
- J 構成員 転入について、リモートワークやテレワークが理由で戻ってくる人はどれくらいいるのか。そういった人たちへのアプローチができるとうい。
- 市長 本通6丁目の空き家をリノベーションしシェアオフィスにしたり、商工会議所1階でコワーキングスペースを設けたり、学校跡地を利用しワーケーション施設を設けたりといった事業を計画しており、様々な形で要望に応えられるようにしていきたいと思います。
- K 構成員 人を動かすには心を動かさなくてはならないと考えている。市民の心を動かさなければ目標は達成できないと思うので、そういった視点で続けてもらえたらと思う。
- L 構成員 令和3年度高校入学予定者の選抜が終わった。今年も定員を割っているのが現状である。金谷高校は今後、定時制となり多部制でやっていくが、門戸を広げ、外国人の受け入れや定年を超えた60,70,80代でも生涯活躍できる場を作り、地域一体となって高校を作っていくのも良いと思った。
- 教育長 学び方が変わっていくとういと思った。金谷高校だけでなく、商業高校、工業高校でも門戸を開いてもらえとうい。
- M 構成員 今まで島田市について知らないことが多かった。資料2の26ページにあるKPI「職場で男女が平等であると思う市民の割合」を設定しているが、「職場」という括りにしたのは何か意図があったのか。先の話で、職場と居住地が異なるという話も出ていたので、市民と言っても職場が島田市内でない場合もあるのでは。
- 事務局 島田市男女共同参画基本計画でも同様の目標値を設定しており、そこから引用しているものです。市内企業の実態を計れるものにした方がよいと思うので、趣旨をもう一度考えて見直しを検討したいと思います。
- N 構成員 リモートで湖州市と交流をするなど先進的な取組を行った。DX、ギガスク



ール等によりこれからも展開していきたいと思っている。

○塚本局長

本会議では、様々な団体や学生さんの意見が聞けるということで毎回開催を大変楽しみにしています。

簡単に2点お伝えします。

行政の仕事は、成果が見えやすい短期的な仕事に比率が傾き、長期的な仕事がおざなりになりやすい中、島田市は長期的な視点に立って仕事をしていると感じました。特に、基本目標3の中の「子どもを真ん中に子育てする」という施策は、市の一丁目一番地の施策であると思います。そういった長期間かけた施策が、Uターンや子育て世代30代の7年連続転入超過に繋がっており、驚きとともに成果の現れてあると感じました。また、子どもの頃に地元に興味を持ってもらうこと、これは10年後に成果がでるような長期的な取組です。

2点目は、将来の課題を先送りしないで現時点から調整しているということです。人口減少により税金が減ってしまうことで、これまでの行政サービスを支えていけなくなり、地域に合ったサービスをどうするか考えなくてはならない。コンパクト・プラス・ネットワークはこうしたことを先取りした将来に向かってチャレンジする取組だと思っています。

島田市はこの会議のような市民と市長、副市長、教育長とが対面して話合う場面が多い市であると感じています。先ほどの長期な視点での取組や課題を先送りにしない点などは、こうした所で支えられているのだと思います。このような会議に参加し、皆様から直接お話を聞かせていただくことで勉強させていただくことが大変多かったです。ありがとうございました。

○市長

塚本局長ありがとうございました。

本日は、皆様からも前向きな意見、提案が出され、とても有意義な意見交換の時間になったと思います。

本日、皆様からいただいたご意見については、今後のまちづくりに生かして参ります。ありがとうございました。

それでは、会議の進行を事務局へ戻します。

○市長戦略部長

ありがとうございました。

来年度の市民会議につきましては、4月に入りましたら、来年度の構成員の確認と年間スケジュールの報告について、構成団体宛てにご連絡をさせていただきたいと思います。

それでは、以上をもちまして「令和2年度第3回島田市まち・ひと・しごと創生市民会議」を閉会とさせていただきます。

本日は、ご多用の中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございました。お気をつけてお帰りください

～終了(17:00)～